



第11図 西麓のセオドライト観測結果(鉛直成分および水平成分). 鉛直成分は隆起方向を正, 水平成分は東方向を正とした. 横軸は日付を示す. 図中の番号は目標点の番号を示す.

Fig.11 Results of theodolite monitoring at the western foot of Usu Volcano (vertical displacement: uplift movement +, horizontal displacement: eastward movement +, horizontal axis: date). Numbers in the graph indicate target points.

以上の観測結果をまとめる. 隆起中心に近い目標点
は, 4月13日(16日)~7月下旬までの期間に約
10m隆起し, K1からみて西方に約1m~3.5m移動した. 一
方, 隆起中心から500m離れた目標点
は4月13日から
6月下旬までの期間に約3~4m隆起し, K1から見て西方
に約3.5m移動した. 変動速度は次第に減少した. 変動は,

目標点
では6月下旬でほぼ見られなくなったが, 目標
点
では7月下旬まで継続した. このことは, 地下
浅所へのマグマの貫入深度が次第に浅くなり, 隆起域が
次第に局在化したことが原因の1つであると考えられる.

より精度の高い光波測距と反射ミラーを使った観測で
は, 目標点がK1に対して近づいてくる方向に移動してい